

# ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 <b>プライマル・ゴースト</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.550</b>	△RG <b>0.050</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：プライマル・ゴースト**

フレアーの幅  
[ ] インチ

PAPからピンとの距離  
**4** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

**比較対照ボール：プライマル・ショック**

フレアーの幅  
[ ] インチ

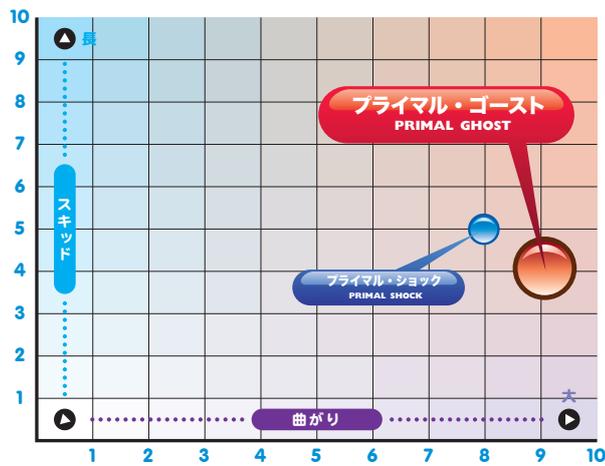
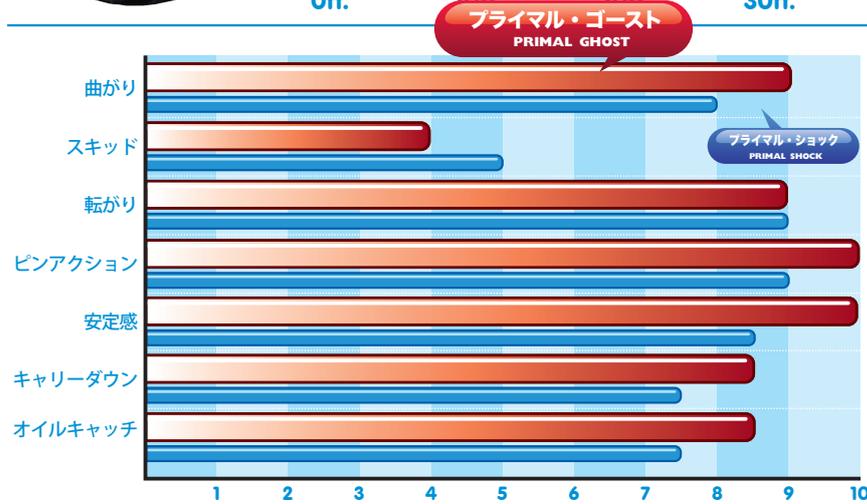
PAPからピンとの距離  
**4** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- パフ



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レンジス
Light Oil	Smooth	Early Roll
Light to Medium	Smooth to Arc	Early to Med
Medium Oil	Arc	Med-Lane
Medium to Heavy	Arc to Sharp	Med to Late
Heavy Oil	Sharp Angle	Late Roll

## ボールの評価

MOTIVが新たに放つ「PRIMAL GHOST」は、人気を博した二つのモデルを融合させて誕生した、まさに“MOTIVの集大成”と呼ぶべきボールです。世界中で数多くの勝利を重ね、安定感の象徴となったJACKAL GHOST。そして、MOTIVを一躍世界の舞台に押し上げたPRIMAL RAGE。それぞれの特性を受け継ぎつつ、新たなバランスを生み出したのが、このPRIMAL GHOSTです。JACKAL GHOSTが搭載する「Coercion HFS Solid」カバーは、当時からヘビーオイル下での確実なキャッチ力を発揮し、最後まで粘り強くピンへ向かう性能で支持されてきました。一方、PRIMAL RAGEに採用された「Impulse V2」コアは、素早い立ち上がりと持続的な回転力を武器に、爆発的なバックエンドモーションを描き、その強烈なピンアクションは今なお語り継がれています。

この二つの伝説が重なり合うことで、PRIMAL GHOSTは“極端さ”を排した絶妙な性能バランスを実現しました。オイルに強すぎるわけでもなく、かといって奥で暴れすぎることもない。しっかりと手前からキャッチしつつも、終盤の動きが予測可能な範囲に収まるため、ライン取りが計算しやすく、ボウラーに安心感を与えてくれます。特にミディアムコンディションを中心とした幅広い状況で、実戦的なコントロール性とパフォーマンスを発揮する点が最大の魅力です。

投球イメージとしては、スムーズに走りながらも無駄のないキャッチを見せ、奥では力強さと扱いやすさを両立した鋭い方向転換を描きます。強すぎて使いどころを選ぶわけではなく、逆に軽すぎて物足りないわけでもない。その“ちょうど良さ”が、日常的なコンディションから競技会場まで幅広く信頼できる武器となるでしょう。

## 特記事項

**JACKAL GHOSTが誇った「安定感」と、PRIMAL RAGEが示した「爆発力」。その両極を高次元で調和させたPRIMAL GHOSTは、ボウラーの期待に応える新たなスタンダードとして、ラインナップの中核を担う存在になるでしょう。**